

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所  
士別市東7条9丁目  
Tel0165-22-3100  
fax0165-23-4356

# 今夏の「青空の集い」中止

## 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

### 感染防止を優先

新型コロナウイルスが猛威を振るい、イベントや各種会議が相次いで中止や延期となり、さらに自粛などで地域経済にも大きな影響が出ております。

毎年夏に開催させていただいています「北口ゆうこう道議と語る青空の集い」ですが、今年は感染防止も

含め、中止とさせていただきます。

「青空の集い」は、ご参加いただいた皆さまと膝を交えてお話しできる絶好の機会であり、何とか開催できないかと模索しましたが、野外での開催とは言っても、参加された皆さまやスタッフの感染防止を考えるとやむを得ないものと考えております。

今後は、この影響を受けた皆さまへの対応をしっかり行い、一日も早い収束を願う次第です。



新庁舎の議席(6月19日寺島栄一氏撮影)

### お詫び

新型コロナウイルス感染防止対策のため、各種会議やイベントが相次いで中止となっています。よって、紙面構成も縮小させていただきました。

### 新春の集いは予定

2021年1月23日(土)には、「新春の集い」の開催を予定しており、改めてご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

### 新しい道議会議庁舎は「馬蹄形」継承

新しい北海道議会議庁舎が完成し、この第2回定例会から使われています。

旧庁舎は、1951(昭和26)年に建設され、以来69年にわたり、道民生活に関する課題を議論してきました。しかし、老朽・狭隘化に加え、耐震化がなされていないことから、新庁舎

建設に至りました。

新庁舎の議場は、全国でも唯一の馬蹄形をしており、議員と理事者が一体となって課題解決に取り組み決意を表していると言われています。

また新庁舎は、バリアフリーに配慮し、道産木材を活用、新エネルギーを導入した庁舎となっています。

第2回定例会は7月3日で閉会しましたが、第3回定例会は9月8日から10月2日までの日程での開会を予定しており、ぜひ傍聴していただければと思います。



# 第2回定例道議会報告(6月16日~7月3日)

## コロナ対策に5千億超

第2回定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を中心に6月16日(火)に開会、感染対策と影響緩和などに対する補正予算額などを審議し、7月3日(金)閉会しました。

## 知事専決は議会軽視

新型コロナウイルス感染症対策では、4月28日の臨時議会ですべて784億円を補正。一方鈴木知事は、「急を要する」とし、5月15日に49億円の知事専決予算を措置しました。しかし、この対応

### 第2回定例会までに可決された予算額

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
既決予算額	2,846,208,474	1,112,048,152	3,958,256,626
臨時議会補正	78,444,165	0	78,444,165
知事専決補正	4,860,000	0	4,860,000
2定冒頭提案	32,081,083	225,000	32,306,083
2定追加提案	367,767,595	0	367,767,595
合計	3,329,361,317	1,112,273,152	4,441,634,469

### 新型コロナウイルス感染症対策予算の推移

令和元年度最終補正予算及び予備費対応額	18億円
令和2年第1回定例会補正額	261億円
臨時議会補正額	784億円
知事専決予算額	49億円
令和2年第2回定例会先議補正額	300億円
同追加補正額	3,677億円
合計	5,089億円

には「議会軽視」や「道民の意見を聞いていない」などの意見が出されました。

また第2回定例会の初日に300億円の対策費を可決。さらに最終日には、3677億円の補正予算を可決しました。

これで新型コロナウイルス対策費としては、当初予算分なども含め5089億円となりました。

## 対応の検証作業必要

北海道の緊急事態宣言は5月25日に2度目の解除がなされましたが、とりわけ1度目の緊急事態宣言や学校の一時休校要請、社会活動の自粛要請などは、法に基づかない対応だっただけに、保護者や地域社会に重大な影響を与えました。

今議会の議論でも、各会派から今回の知事の対応について、さまざまな意見が出され、知事としても「混乱を招いたことは重く受け止めている」とその影響を認め、その効果を検証する

「有識者会議」を設置することになりました。

今後の感染対策をしっかりと進めるためにも、北海道の対応に対する検証作業は重要です。法律や科学的根拠がない緊急事態宣言などは、北海道が全世界に対し、「危険地域」であるイメージを広げた事を認識し、その払拭に向けた取り組みを進めなければなりません。

## 「花き条例」制定

花卉(かき)生産者を支援し、8月7日を『花の日』と定める「北海道花きの振興に関する条例」が制定されました。

この条例案は、自民党会派が単独で提案したものです。本来各会派全体で提案すべきものであり、しかも道民の責務として「花き活用に努める」とあり、個人の嗜好性を強制する文言もあつたため、修正を求めましたが、残念ながら原文のままの条例制定となりました。

## 採択された決議・意見書

- 新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 令和2年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 北海道内における大学入学共通テスト会場の複数設置に関する意見書
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書
- 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・充実に求める意見書
- 私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書

## (RUSHU)

▼鈴木知事は2月26日、突然道内の各学校に対し休校を要請。ほとんどの学校は翌27日から休校した▼これは、科学的にも法的にも根拠がない中でこの要請であり、その対応が正しかったのか、その検証が必要だ。鈴木知事は、「最終的に休校の判断は各教育委員会がしたものと」議会で答弁した▼確かに最終的な判断は各教育委員会にあるが、自分の責任を放棄するよつな発言だけに、私はわが耳を疑った。こんなトップに大事な北海道を任せて良いのだろうか…。(ゆづり)